

令和5年度



12月



学校だより

防府市立右田中学校

TEL 0835-22-0984

校内ロードレース大会開催

11月8日（水）、校内ロードレース大会を開催しました。今年度は、佐波川河川敷をコースとして、女子は2.2キロ、男子は3キロで実施しました。佐波川まで徒歩で行き、開会式・準備運動をした後、学年ごとにスタートしました。保護者の方にも応援していただき、生徒は最後まで全力で走り抜き、さわやかな汗をかいていました。天気もよく、河川敷ということで気持ちのよい、素晴らしい大会になりました。



【校長講評】

今、各学年上位6人に賞状を渡しましたが、皆さんの中には、長距離走が得意な人もいれば、苦手な人もいます。どちらにしても大切なことは、自分に合った目標をもって取り組んだかということです。

例えば、長距離走が苦手な人は、自己最高タイムを超える。歩かずに最後まで完走する。歩いてでも最後まで完走する。そして、その目標が達成できた、またはそれに近い成果があった。それは今賞状を渡した人と同じ価値があると思います。

昔は人と比べることをしていましたが、今は人と比べる考え方は少なくなってきました。人と同じことをしないとイケないということもありません。大切なことは、自分としっかり向き合うこと。苦しいこといやなことから逃げないことです。自分と向き合うということは、その時の自分を受け入れ、目標に向けて努力をすること。具体的には、もうすぐ2学期の期末テストがあります。授業を大切に、家庭学習にも一生懸命に取り組み、自分が立てた目標の点数を取れるよう努力する。これは、自分と向き合っていることになります。逆に授業をいい加減に受けて、家庭学習もしない人は、自分と向き合っているとはいいません。自分から逃げていることになります。

皆さんがこれから生きていく中では、苦しいこと、つらいことはたくさん出てきます。そんなとき逃げるのではなく、そのときの自分を受け入れ、その時の自分に合った目標を決めて、一步一步前に進むことです。その積み重ねが人を成長させてくれます。その積み重ねが、大人になったときに役に立つことをたくさん身につけることにつながります。

盲目のバイオリニスト白井崇陽さんのトーク&ライブ

11月13日(月)右田中学校体育館で人権教育講演会として、白井崇陽さんのトーク&ライブを開催しました。白井さんは3歳の時「はしか」が原因で失明し、それをきっかけにバイオリンの練習を始め、現在では全国各地での演奏の他、学校での講演(トーク&ライブ)、舞台音楽への参加、ラジオパーソナリティ、囲碁など幅広く活躍されています。当日は、白井さんがびっくりするほど生徒は盛り上がり、また、白井さんのトークの時は静かに聞き、「動と静の切り替えができることがすばらしい生徒のみなさんです。」と生徒の鑑賞態度を褒めていただきました。



【生徒の感想】

(1年生)

お話を聞いていて、今生きていることに、ありがたさを感じました。皆が生きていられるのは、当たり前のように、当たり前じゃないんだとわかったからです。白井さんの経験話から、私が感じてみたくても感じられない思いをたくさん知ることができました。「青空の半月」を聴いて、いつも私を前へと歩み出すチャンスを与えるたくさんの周りの人に「感謝しよう」と思いました。直接じゃなくても私に元気をくれた人・物の存在を大切に、これからの人生を送ることができたらいいなと思います。

(2年生)

今日のトーク&ライブを聴いて、自分の中の視覚障害のイメージがすごく変わりました。最初は目が見えないというだけでマイナスなイメージがとても多かったけど、トーク&ライブを聴いた後は、目が見えない人だからこそ感じられたり、気がついたりするものがあることがわかりました。私たちが勝手にマイナスなイメージの部分を見ていただけで、次からはプラスの良いところをたくさん見つけていければいいなと思いました。

(3年生)

初めてのトーク&ライブだったけど、めっちゃ楽しかったです。障害のことをあまり暗く考えずに、前向きに捉えている場面も見られてすごいなと思いました。一つひとつの言葉がすごく刺さったし、勇気をもらえたような気がしました。私も将来、誰かに勇気や希望を与えられるようになりたいと思いました。



学校だより1月号は休刊します

学校だより1月号は、休刊します。代わりに「右田中学校PTA広報誌『佐波川』」の回覧をお願いします。

4月より保護者・地域の方々に数々のご支援をいただきながら、多くの教育活動を充実したものにできましたこと、深く感謝申し上げます。来年もよろしくお願いいたします。

